学校番号	３０２３

令和３年度　国語科

教科	国 語	科目	現代文Ｂ （文理学科文系）	単位 数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「改訂版 現代文Ｂ」　（数研出版）						
副教材等	・「新版 品詞別 頻出漢字マスター3000」（尚文出版）・「現代文単語げんたん」（いいずな書店）・「ＬＴ実戦長文読解」（浜島書店）・「現代文１００字要約ドリル標準編第３版」（駿台文庫）・「2022 共通テスト対策実力養成重要問題演習 現代文」（Learn-S）・「2022 共通テスト対策実力完成直前演習」（Learn-S）・「2021 共通テスト攻略レビュー国語」（河合出版）・「トータルサポート新国語便覧」（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語学習の土台として不可欠なのは文章を読む力（読書力）です。これを涵養するために、まとまった文章を読む習慣(読書習慣)を必ず身に付けましょう。本格的な読書を継続的に行うことによって、国語力の増強はもとより、幅広い教養を身につけ、人間としての値打ちを高めることに結びつく様々な恩恵を享受できます。日々の習慣として読書〈まとまった文章を読むこと〉を是非心がけて下さい。

・文章を読む力は、様々な学力や問題処理能力の基盤となります。あらゆる機会を通じ高い意識を持って読解力を養っていきましょう。特に授業中に教材を読むときや問題演習をするときなどは、精神を集中して全力で読み取ることを心がけましょう。

・漢字と語彙の力は国語力の基礎です。将来に向けてこれらの力の必要性を自覚し、強い意欲を持って学習に取り組んでください。漢字・語彙力をつけるため、授業の中での小テスト、定期テストにおける出題等を継続的に行います。

・学習課題は皆さんの学力向上を図って課されます。単に作業的にこなすのではなく、その意義や目的を理解した上で取り組み、期限内に仕上げましょう。

・適宜、国語力をつけるための問題演習を行うので、向上心を持って積極的に取り組んで下さい。

・目先のことのみにとらわれるのではなく、人生全体の長い期間を視野に入れて学習を行い、人間的成長を遂げて欲しいと願っています。

2　学習の到達目標

・韻文や実用文を含めたあらゆる文章を読みこなすための力をつける。

・できる限り多くの論理的文章、文学作品を読み、豊かな人生の土台をつくる。

・文章を書く、あるいは発表をすることで、自己の考えを的確に他者に伝える能力を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	授業に積極的に取り組み、現代文について自ら学ぶ意欲がある。	・集中して授業や他者の意見を聞くことができる。 ・本文の内容を踏まえて自分の考えを書く〔言う〕ことができる。	・本文の内容踏まえ、要約を書くことができる。 ・本文の内容踏まえ、自分の感想、意見を論理的に書くことができる。	・評論、随筆、小説を読みこなし、内容を正確に理解できる。 ・詩、短歌、俳句等を鑑賞し理解できる。	・漢検２級程度の漢字の読み書きができる。 ・現代文を理解するための必要語句、知識を習得している。
評価方法	行動の観察 提出物の点検（ワークシート等)	行動の観察 小テスト	記述の確認及び分析（ワークシート・原稿用紙等) 小テスト 定期考査	行動の観察 ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習内容

学期	単元	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	e	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期 第1中間考査まで	評論1の四	「日本語は非論理的か」 野矢茂樹 (p.124～p.131)	○	○	○	○	○	a:文章の表現効果の把握 b:論理展開の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味などの理解	定期考査 小テスト 課題　等
	評論1の三	「擬似群衆の時代」 港千尋 (p.90～p.97)	○	○	○	○	○	a:文章の表現効果の把握 b:論理展開の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味などの理解	定期考査 小テスト 課題　等
	小説2の二	「赤い繭」 安部公房 (p.344～p.349)	○	○	○	○		a:文章の表現効果の把握 b:登場人物の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味などの理解	定期考査 小テスト 課題　等
前期 第2中間	小説2の一	「舞姫」 森　鷗外 (p.280～p.315)	○	○	○	○	○	a:文章の表現効果の把握 b:登場人物の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味などの理解	定期考査 小テスト 課題　等

	評論2の一	「「文化が違う」とは何を意味するのか」 岡　真理 （p.272～p.279）	○	○	○	○	○	a:文章の表現効果の把握 b:論理展開の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味などの理解	定期考査 小テスト 課題　等
前期　期末考査まで	評論2の四	「環境と心の問題」 河野哲也 （p.384～p.391）	○		○	○	○	a:文章の表現効果の把握 b:論理展開の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味などの理解	定期考査 小テスト 課題　等
	小説2の二	「朝のヨット」 山川方夫 （p.350～p.355）	○	○		○		a:文章の表現効果の把握 b:登場人物の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味などの理解	定期考査 小テスト 課題　等
後期　中間考査まで	評論2の五	「顔の所有」 鷲田清一 （P.399～P.406）	○	○	○	○	○	a:文章の表現効果の把握 b:論理展開の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味などの理解	定期考査 小テスト 課題　等
	評論2の三	「メディアのテロル」 山川登世子 （P.365～P.371）	○	○	○	○	○	a:文章の表現効果の把握 b:論理展開の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味などの理解	定期考査 小テスト 課題　等
	小説1の四	「果汁」 小川洋子 （P.214～P.227）	○		○	○	○	a:文章の表現効果の把握 b:登場人物の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味などの理解	定期考査 小テスト 課題　等
後期　期末考査まで	講座別授業	主として、生徒各自の進路希望に応じた問題の演習と解説を通じて、読解力、表現力の向上を目指す。	○		○	○	○	a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力・表現力 d:文章を読みこなす力 e:漢字・語句の理解	問題演習の達成度

※後期中間考査後～後期期末考査までは講座別授業

※ 表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※ 年間指導計画作成上の留意点

原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において、特に重点的に評価を行う観点について〇を付けている。また、生徒の学習達成度により、予定を変更する可能性がある。